

## < 白金標準先物、中国要因と雇用統計を受け高値維持・・・ >



(出所：オアシス)

中国北京市では感染者が 3000 人を超えるなど感染拡大を示しているが、厳格なゼロコロナ政策に市民の不満も高まりを見せており、中国疫病予防抑制センターの疫学首席科学者を務める曾光氏は週末に、中国のゼロコロナ政策について、近く大幅な変更が行われると明らかにし、香港株式市場は 7%を超える上昇を見せ、為替市場でも人民元が対ドルで大きく買われるなどドル安の動きを強めている。

その事から非鉄金属や原油などが大きく反発し、NY 白金も 36 ドル高で 960 ドルまで大幅値上がりを見せている。また NY マーカントイル取引所の指定倉庫のプラチナ在庫は 5.1 トンまで低下しているが、コメックス取引所のプラチナ先物オプションは 12.4 トンのロングポジションまで増加するなど、900 ドルを下回る事が難しい取組み内容になっている。特に白金標準先物は、FOMC を受けて一時 4200 円まで下値を試しながら週末には 4348 円まで戻りを見せるなど中国のゼロコロナ政策の変更は白金需要を押し上げる要因へ結びつく事から、4200 円を割り込む事は難しくなったと思える。

### <テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD は MACD が切り下げながら、シグナルは上昇が止まり、MACD とシグナルの乖離が縮小している。RCI では短期が上昇し、長期は横ばいするなど、強気を維持した状態を示している。ただ日足が 10 日移動平均線の上昇に合わせて切り上げ続け 40 日移動平均線や 200 日移動平均線の乖離が拡大しており、目先の調整安には注意した方が良く思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引3,210,000円(2022年11月7日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約10倍から70倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚あたり往復37,620円(2022年11月7日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話03-3249-8827(受付時間:平日8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>